

飯田市 歴研ニュース

News Letter

No. **56**
The Iida City Institute
of Historical Research

飯田市歴史研究所
〒395-0002
長野県飯田市上郷飯沼3145
TEL 0265-53-4670
FAX 0265-21-1173
E-mail iih@city.iida.nagano.jp



飯田・下伊那の農村舞台

飯田・下伊那地域は近世から農村芸能が盛んな地域で、その代表といえる大鹿・下條・平谷の歌舞伎芝居や黒田・伊豆木・今田・早稲田の人形芝居は現在も地域の人々に継承され、これらの芝居を演じるための農村舞台も各村落の神社に数多く残存しています。

昭和42年の全国調査では農村舞台が約2000棟存在し、長野県は徳島県・兵庫県とともに棟数の多い地域として報告されています。平成23年度に新たに農村舞台の悉皆調査を実施した結果、飯田・下伊那地域には121棟の存在が確認され、うち68棟が現存しています。



今田神明社廻り舞台(飯田市)
寛政5(1793)年建築、飯田・下伊那で現存最古の農村舞台

建築年代を調べてみると18世紀末から昭和30年代まで恒常的に建築されています。これらの舞台は娯楽施設としての性質が強いため、生活の余裕や村落の栄耀を色濃く反映する建物と捉えることができ、当時の農村背景を思い浮かべることができます。

また演出装置として、廻り舞台や遠見・太夫座・花道・舟底など建築的な特徴もあり、見所が多い建物です。

昭和30年代まで素人芝居(地芝居)やナトコ映画上映に使われましたが、その後集会所などに改築され、現在でも舞台として使用するものは8棟のみです。飯田下伊那の特徴ある建物群として今後利活用が望まれます。

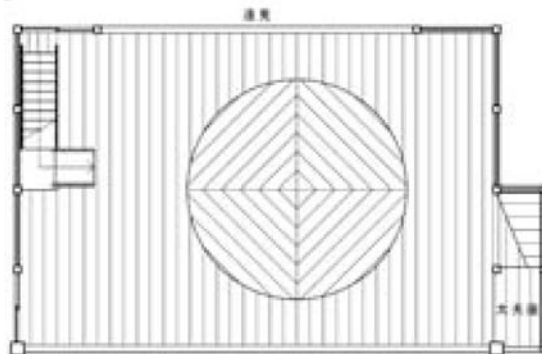
今回の歴史的建造物「農村舞台の悉皆調査」の研究成果は、3月に『飯田下伊那史料叢書3 建造物編2 農村舞台』と題する報告書として刊行を予定しています。



富田下諏訪神社廻り舞台(喬木村)
文久5(1863)年建築、廻り舞台装置と広い吹き抜けのステージ



下條子ども歌舞伎教室「車曳」桜丸・松王丸・梅王丸



梨原葦原神社廻り舞台(大鹿村)一階平面図
明治20年(1887)年建築、廻り舞台・太夫座・遠見・二重台を完備する本格的歌舞伎舞台



飯田・下伊那地域史料現況記録調査報告書2

松川町生田部奈 部奈一朗氏所蔵文書

松川町生田部奈の旧家に残る約13000点の所蔵史料を整理し、その内容について調査した報告書です。19世紀なかば、水に苦しんだ村を救うために部奈疎水を引いた部奈団蔵、そして明治期、洪水のたびに交通が遮断される人々のためにと、天龍川の架橋事業を進めた次代の部奈団造と息子の格の事績を示す史料はもちろん、彼らと村、そして飯田町をはじめとする下伊那各地の人々との密接なつながりも見ることのできる貴重な文書です。巻末には、近世部奈村に関する文書や、戦前にブラジル拓殖組合へ出向した格の長男・恭一が、ブラジル日本人社会の様子を故郷へ知らせた書簡など、トピックとなる史料の紹介も掲載しています。



編集発行：飯田市歴史研究所 A4判・390頁・並製 定価：2,000円

2011年度飯田歴研賞受賞

論文賞「農地改革期の耕作権移動」



慶應義塾大学経済学部助教
青木 健さん

研究対象地域を決めかねていた中、指導を受けていた先生から飯田市歴史研究所の名を教えてください、さっそく研究所で史料目録を閲覧させて頂くと、膨大な史料が保存されていることに圧倒されました。率直に言って、はじめのうちは自分の手に負えるか不安を感じるほどの史料群でしたが、研究所の職員の皆様のあたためサポートを頂きながら研究をはじめてもう約5年になります。歴研賞を頂いた論文は研究の中間報告のようなものですが、今回の受賞に伴って飯田市民の皆様、そして歴史研究所の皆様のご協力に対する感謝の念を新たにするとともに、この受賞を今後の研究への励みと致したいと思います。

飯田アカデミア 第65講座の開催予定

開催日：2012年6月下旬

講師：田嶋 一さん
(國學院大学教授・教育学)



1947年埼玉県生まれ。1971年東京大学教育学部卒業。1978年東京大学大学院教育学研究科博士課程修了。
【著書】
『柏市史』近代編
『人間形成の全体史』
『やさしい教育原理』
ほか多数

講演内容・開催場所などの詳細は、決まり次第歴研ニュース・ホームページなどで随時お知らせいたします。



『飯田・上飯田の歴史』刊行事業より

挫折した、飯田への 蚕糸専門学校誘致構想

下巻
近代・現代

信州大学繊維学部の前身は旧上田蚕糸専門学校です。明治40年12月に政府は蚕糸専門学校設置を決定し、その位置として長野県を内定します。そして翌年の明治41年5月には上田に全国初の蚕糸専門学校設立が決定し、明治44年4月に開校します。上田に決定するまでの数ヶ月に県内では蚕糸専門学校設置をめぐる激しい誘致競争が展開されました。長野県内の候補地になったのは上田の他に、長野・松本・諏訪、そして飯田も後に加わることになりました。飯田への蚕糸専門学校誘致運動の高まりはこの時期の地方新聞『南信新聞』（飯田市立図書館所蔵）の連日の報道ぶりにうかがうことができます。設置条件として誘致地域からの寄付金（地元負担額）も重要な条件となっていましたので、飯田町議会は7万円、下伊那郡会が7万5千円と、計14万5千円の寄付金が決定され、最終決定地の上田・小県に匹敵する寄付額となりました。明治41年1月24日に誘致郡民大会が飯田町にて開催され、愛知・岐阜・静岡とも連携し、東京へ陳情するなどの運動方針が確認され、期成同盟会が発足します。下伊那郡会の陳情意見書には上田・小県地方に比べて降水量が多く桑葉栽培の適地であり、県下では春夏秋と養蚕の県

地域史講座

2012年**3月10日**±
中世飯田の名残を求めて
 ～宮ノ上太子堂旧蔵・聖徳太子絵伝を手がかりに～
 飯田・上飯田の中世のようすを、「聖徳太子絵伝」
 を手がかりに探ってみたいと思います。
講師:織田 顕行
 (飯田市美術博物館学芸員)
時間:14:00～16:00
場所:東野公民館 大会議室

定例研究会

開催日:2012年**2月4日**±
 テーマ:「大型店進出と『丘の上』」
 報告者:本島 和人(調査研究員)
 時間:14:00～16:00
 場所:歴史研究所 研修室

 開催日:2012年**4月14日**±
 テーマ:「古代のイナの特質(仮)」
 報告者:北村 安裕(研究員)
 時間:14:00～16:00
 場所:歴史研究所 研修室

研究助成報告会を開催します

歴史研究所では、個人や団体の歴史研究活動に
 対して助成を行っています。
 今年度この助成を申請した皆さんが研究報告を
 行います。

- 開催日:2012年**3月3日**±
- 時間:14:00より
- 会場:上郷公民館 103号室

● 報告課題 ●

「鼎下山赤田新井家文書の保存と活用」
 鼎歴史を学ぶ会 原 宏
 「南原橋の歴史について」小林 寿保



平成24年4月開講
古代史ゼミのご案内

- 開催日:毎月第2・4 木曜日
- 時間:19:00～20:40
- 担当:北村 安裕(研究員)
- 場所:歴史研究所 研修室



あの事件やこの出来事…ホントの史料に触れてみると、ちがった姿がみえてくる。
 飛鳥から平安時代の大事件やシナノ(信濃)・イナ(伊那)についてのトピックをとりあげて、みんなで史料を読みながら語りあいましょ。今まで誰も知らなかった発見もあるかも…☆専門的な知識はあってもなくても大歓迎!史料を読むのはちょっと大変だけど、教科書には載っていない古代の真実にのめりこむこと間違いなしです!!
 みなさんのご参加をお待ちしています♪

下最優秀成績の地であることが記されています。

飯田の誘致構想は挫折せざるをえない結果となり、その後、今日に至るまで飯田・下伊那地方には大学が設置されないという状態が続いています。しかしながら、地域住民はこれまで、現代の職業高校に結実していく明治期の職業教育学校設置構想や、大正期の青年による自由大学運動、戦後の社会教育運動など、多様な教育文化運動を展開してきました。蚕糸専門学校誘致論を単なる地域利害誘導として意義づけるだけでなく、地域住民の教育文化構想の先駆けとして意味づけていくことも可能でもあるように思われます。また、新興養蚕業地帯である下伊那郡は先進地小県郡を年間産繭量では明治40年に上回ります。こうした蚕糸専門学校誘致の気運をもたらした基礎的条件となった下伊那における急速な養蚕業の発展については地域史研究として、なお検証すべき課題を残しているといえましょう。

決議案
 一 吾々郡民は全郡一致至誠以て白難を排し其目的を徹せん
 二 本會の目的を達せしめんがため上京員數名を出京せしむ
 三 本會は岐阜愛知靜岡三縣と氣脈を通じ大運動方針を講ず
 四 本會は運動方針を講ず活躍するもの

明治41年1月26日発行「南信新聞」記事
 1月24日開催の郡民大会の蚕糸専門学校の誘致運動決議を伝える記事

【田中 雅孝】

歴研ゼミ

近世史ゼミ 担当 竹ノ内 研究員 開催日 2月7日/2月21日 3月6日 (4月3日予定) 時間 19:00~20:40 場所 歴史研究所研修室	思想史ゼミ 担当 池田 研究員 開催日 2月8日/2月22日 3月7日/3月21日 (4月4日予定) 時間 19:00~20:40 場所 歴史研究所研修室	近現代史ゼミ 担当 田中 調査研究員 開催日 2月25日 3月10日 (4月14日予定) 時間 17:00~18:40 場所 歴史研究所研修室
満州移民研究ゼミ 担当 本島 調査研究員 開催日 2月4日/3月3日(4月7日予定) 時間 10:00~11:40 場所 上郷公民館103号室	建築史ワークショップ 担当 金澤 客員研究員 開催日 2月14日/3月13日(4月の予定は未定です) 時間 19:00~20:40 場所 歴史研究所研修室	

歴研日誌

12月

- 1日… 歴研ニュース55号発行
- 3日… 恒川遺跡見学会(北村研究員)
- 3-4日 シンポジウム「危機と都市」くぐる〜ぶとらっど3+都市史研究会) 報告「三六災害と飯田・上飯田」(本島調査研究員)(東京大学工学部)
- 5日… 「胡桃澤盛日記」刊行会
- 6日… 近世史ゼミ「宮下家文書を読む」
- 6日… 飯田市千代 林岩刀家文書調査(北村研究員・伊坪調査研究員)
- 7日… 上郷小学校出前講座(伊坪調査研究員)(上郷歴史民俗資料館)
- 7日… 第1回『飯田・上飯田の歴史』下巻第5章執筆者会議
〔高森町歴史民俗資料館〕
- 7日… 思想史ゼミ「渡辺京二『大衆の起源』」
- 10日… 定例研究会「近世下伊那の村落と神職の組織化」(竹ノ内研究員)
- 10日… 近現代史ゼミ「個別調査」
- 10日… 満州移民研究ゼミ「宮下功『満州紀行』を読む⑦」
- 13日… 建築史ワークショップ「町屋」
- 20日… 「胡桃澤盛日記」刊行会 編集会議
- 20日… 研究部会議・幹部会議
- 21日… 研究部会議・全体会議
- 21日… 第1回 多文化共生市民会議(本島調査研究員)(りんご庁舎)
- 22日… 座光寺地区史跡案内板設置会議(北村研究員)(座光寺公民館)
- 27-28日 CATVテレビ広報 現地取材
- 28日… 大掃除

1月

- 5日… 現用文書ライフサイクル打ち合わせ
- 7日… 『飯田・上飯田の歴史』下巻研究会(國學院大學)
- 10日… 平和資料収集委員会プロジェクト会議
(池田研究員・本島調査研究員)
- 10日… 建築史ワークショップ「出作小屋」
- 13日… 座光寺地区史跡案内板設置会議(北村研究員)(座光寺公民館)
- 14日… 地域史講座「新井家文書から見る村の歴史」
(竹ノ内研究員)(鼎公民館)
- 14日… 近現代史ゼミ「今井清一『日本の百年⑥震災にゆらぐ』」
- 14日… 満州移民研究ゼミ「宮下功『満州紀行』を読む⑧」
- 15日… 恒川清水を学ぶ会(北村研究員)
- 16-21日 CATVテレビ広報「歴史的建造物」放送
- 17日… 近世史ゼミ「飯田町家代」の出自」
- 17日… 歴史的グローバルシティ 飯田総合研究 外国籍児童生徒の教育に関わる研究会(本島調査研究員・齊藤客員研究員)(飯田市民館)
- 18日… 思想史ゼミ「津田左右吉『建国の事情と万世一系の思想』②」
- 18日… 鼎小学校出前講座(伊坪調査研究員)(上郷歴史民俗資料館)
- 21日… 定例研究会「明治前期の飯田と士族」(池田研究員)
- 21日… 近現代史ゼミ「大正13年11月・12月の南信新聞と胡桃澤盛日記」
- 21日… 「胡桃澤盛日記」刊行会
- 23日… 『飯田・上飯田の歴史』編集会議(東京大学)
- 25日… 第2回多文化共生市民会議(本島調査研究員)(飯田市役所)
- 26-27日 鼎小学校出前講座(伊坪調査研究員)(上郷歴史民俗資料館)
- 28日… 第2回『飯田・上飯田の歴史』下巻第5章執筆者会議
(飯田市歴史研究所)

■継続調査 三穂上松家所蔵文書、大平大蔵家文書、松尾松田初美氏史料、高田茂氏所蔵文書、松澤卓治氏所蔵文書、北原嘉雄氏史料、小林八十吉氏文書、下條村鎮西徹氏所蔵文書、佐々木久孝氏所蔵史料、千代嶋岡和治氏所蔵文書、八幡久保田写真館写真、川路今村秀平氏所蔵文書、桜井章代氏所蔵文書 ほか

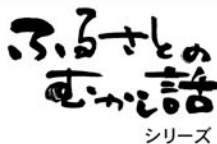
催事スケジュール

日	月	火	水	木	金	土
2012年 2月						
			2/1	NL56発行	2	3
4						4 定例研究会/満州移民研究ゼミ
5	6	7 近世史ゼミ	8 思想史ゼミ	9	10	11
12	13	14 建築史ワークショップ	15	16	17	18
19	20	21 近世史ゼミ	22 思想史ゼミ	23	24	25 近現代史ゼミ
26	27	28	29			
2012年 3月						
			3/1		2	3 満州移民研究ゼミ
4	5	6 近世史ゼミ	7 思想史ゼミ	8	9	10 地域史講座/近現代史ゼミ
11	12	13 建築史ワークショップ	14	15	16	17
18	19	20	21 思想史ゼミ	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

開所時間:午前9時~午後5時

休 所 日:日曜日・月曜日・祝日・12月29日~1月3日

休所日 開所日



好評発売中!
 第1弾・第2弾 各1,500円
 第1弾・第2弾セットも発売中
 第1弾・第2弾 2冊で3,000円
 のどろセット2,500円(税込)

【ふるさとむかし話シリーズのお問い合わせ先】

龍共印刷株式会社
 TEL.0265-22-5353 FAX.0265-22-1971
 URL:http://www.ruyukyo.co.jp E-mail:info@ruyukyo.co.jp

